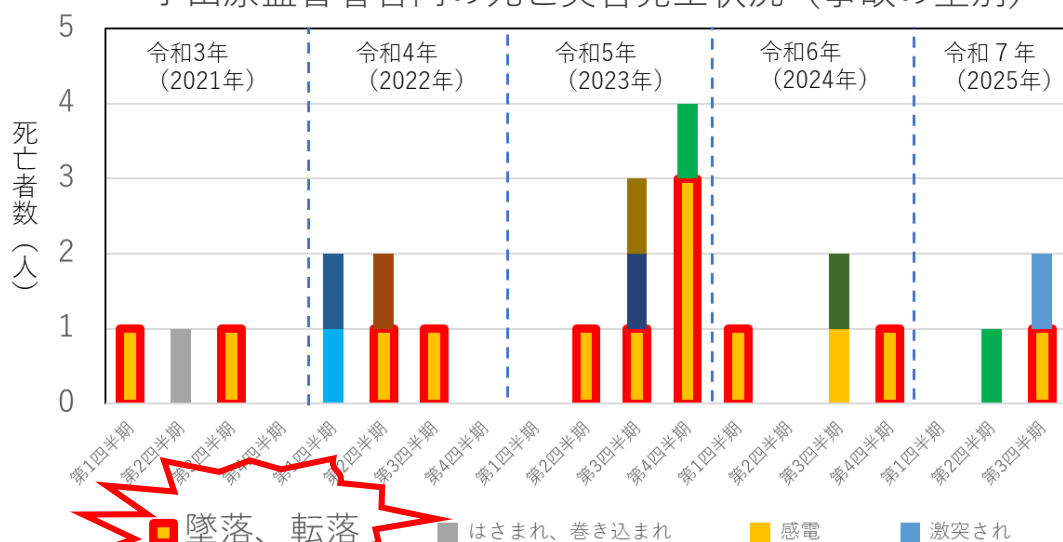


建設業における 「墜落・転落災害ゼロを目指して」

小田原労働基準監督署

墜落・転落災害は重篤な災害になりやすく、小田原労働基準監督署管内での令和3年以降の死亡労働災害（計23件）のうち、最も多いのが「墜落・転落」（12件）であり、その半数以上（7件）が建設業で発生しています。

小田原監督署管内の死亡災害発生状況（事故の型別）



特に重機とともに墜落した災害や、足場など高所からの転落災害が多く発生していることから、皆さまの工事現場でも、安全な作業方法・職場環境となっているか確認しましょう



厚生労働省ホームページ
「職場の安全サイト」から引用

「安全帯・シートベルトは命綱。必ず着用・確実に固定！」

足場など高所作業では、ほんの一瞬の油断が命取りになります。安全帯の着用と点検を徹底しましょう。

「安全対策は“面倒”じゃない、“命を守る手順”だ。」

安全帯の装着や点検、足場の確認など、面倒と感じる作業もあります。しかしそれらはすべて、命を守るための“手順”です。

一人ひとりの安全意識が、現場全体の安全を守ります